

平成22年度

航空局関係予算決定概要

平成21年12月25日

国土交通省 航空局

# 平成22年度 航空局関係予算決定概要

## 1. 22年度予算の主要事項

単位：億円(前年度予算額)

### (1) 首都圏空港等の整備の推進

2,369 (2,687)

- 我が国の国際競争力及び国内航空ネットワーク機能の強化を図るため、羽田空港の再拡張事業を着実に推進し、新たな4本目の滑走路の供用開始により首都圏の空港容量の拡大を図るとともに、羽田空港C滑走路の延伸事業等首都圏空港等の整備を推進する。また、羽田空港における更なる空港容量の拡大に向けた総合的容量拡大検討調査及び首都圏国際ハブ空港の実現のための総合的調査を実施。

### (2) 航空安全・保安対策の強化

202 (217)

- 空港の耐震化を計画的に実施するほか、ヒューマンエラーによる、事故・トラブルを未然に防止するため、滑走路誤進入対策を実施。

## 2. 空港整備勘定の規模

(単位：億円)

歳入	歳出		
一般会計より受入	1,131 (1,429)	空港整備事業	2,745 (3,299)
空港使用料収入	2,045 (2,084)	首都圏空港	2,277 (2,567)
雑収入等	730 (885)	関西国際空港等	92 (120)
財政投融资	687 (882)	一般空港等	201 (391)
		空港等機能高質化事業	175 (221)
		航空安全・保安対策	202 (217)
		空港周辺環境対策事業	66 (93)
		航空路整備事業	180 (242)
		離島航空事業助成	6 (11)
		空港等維持運営費等	1,394 (1,418)
合計	4,593 (5,280)	合計	4,593 (5,280)

( ) は前年度予算額

# 平成22年度予算重要施策事項表(航空局関係)

(単位:百万円)

事 項	平成21年度 予 算 額	平成22年度 予 定 額	比 較 増△減額	備 考
航空局関係				
(一般会計からの特会繰入れ)				
1. 空港整備の推進	142,875	<b>113,130</b>	△ 29,745	
(空港整備勘定)				
2. 首都圏空港の整備	256,726	<b>227,744</b>	△ 28,982	
(1) 東京国際空港(羽田)の 再拡張事業	131,284	<b>103,284</b>	△ 28,000	
(2) 東京国際空港(羽田)の 機能向上	123,407	<b>124,256</b>	849	
(3) 成田国際空港の整備	2,035	<b>204</b>	△ 1,831	国直轄
3. 関西国際空港・ 中部国際空港	12,050	<b>9,185</b>	△ 2,865	
① 会社関係国費	9,000	<b>7,500</b>	△ 1,500	
② 国直轄	3,050	<b>1,685</b>	△ 1,365	
	30,100	<b>34,800</b>	4,700	財政投融资(政保債)
	—	<b>30,000</b>	30,000	政府保証債(5年未満)
4. 一般空港等の整備	39,088	<b>20,094</b>	△ 18,994	
5. 空港等機能高質化事業	22,084	<b>17,498</b>	△ 4,586	
6. 航空における安全・安心 の確保	21,650	<b>20,187</b>	△ 1,463	
〔他 一般会計分〕	( 257)	( 251)	(△ 6)	
7. 空港周辺整備の促進	9,262	<b>6,626</b>	△ 2,636	
8. 航空路施設の整備	24,209	<b>18,054</b>	△ 6,155	
9. 離島の航空輸送の確保	1,097	<b>592</b>	△ 505	
〔他 一般会計分〕	( —)	( 42)	( 42)	

# 1. 空港の整備

(前年度予算)

## (1) 首都圏空港の整備

### ① 東京国際空港(羽田)の再拡張

	百万円	百万円
事業費	95,589	(127,896)
利払費	4,927	(3,388)
国際線地区エプロンPFI事業費	2,768	(-)

平成22年度においては、新設滑走路・連絡誘導路の整備、航空保安施設の整備等関連事業を実施します。



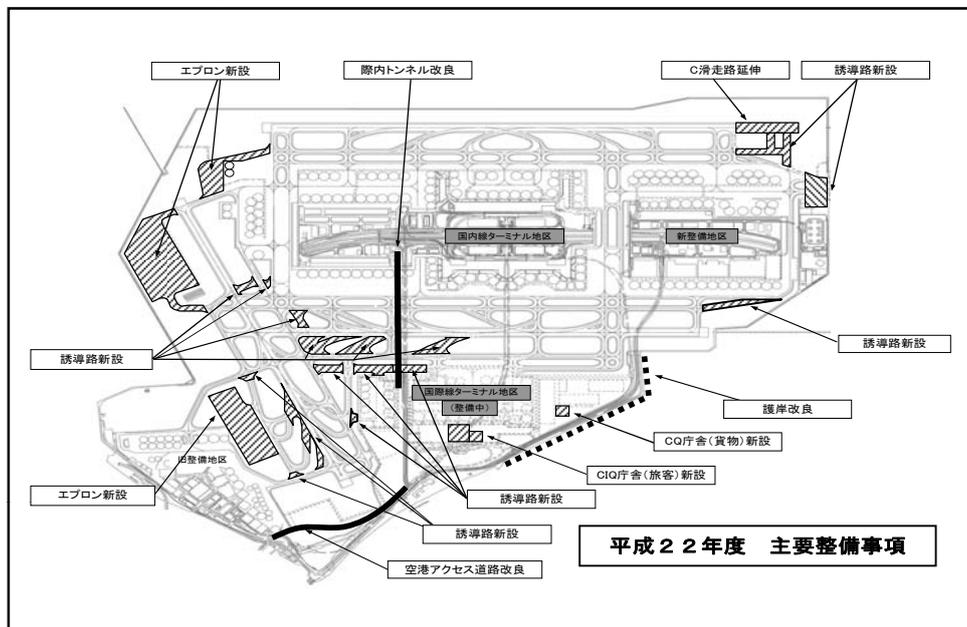
(前年度予算)

### ② 東京国際空港(羽田)の機能向上

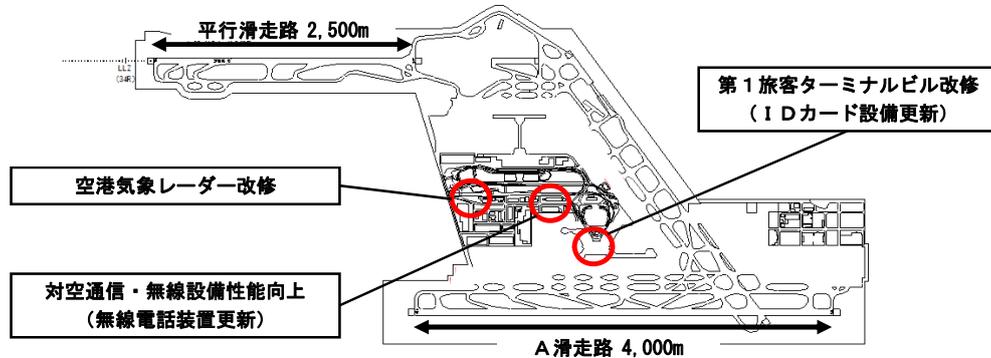
	百万円	百万円
事業費	25,665	(22,917)
借入金元利償還	98,591	(100,490)

平成22年度においては、C滑走路延伸事業を着実に進めるほか、誘導路・エプロンの新設、航空保安施設の整備、空港アクセスの改善等を実施します。

また、羽田空港の更なる容量拡大・機能強化に向けて、総合的容量拡大検討調査を実施します。



			(前年度予算)
<b>③ 成田国際空港の整備</b> (航空保安施設の整備等)	百万円	百万円	
成田国際空港においては、管制施設の改修等を実施します。	国直轄事業費	204	( 2,035 )



## (2) 関西国際空港・中部国際空港

関西国際空港の需要拡大を通じた経営改善を図ることにより、近い将来補給金が不要となるような大阪国際空港との関係を含めた抜本的解決策を平成22年6月には得ることとし、当該抜本的解決策が得られた場合において、関空会社の業務の円滑な運営に資するための補給金を交付します。

また、国直轄事業として、航空保安施設の更新等を実施します。

中部国際空港については、国際競争力強化の観点から、需要の拡大、人流・物流機能の拡充等に向けた調査検討、航空保安施設の更新等を実施します。

			(前年度予算)
	百万円	百万円	
・関西国際空港株式会社補給金	7,500	( 9,000 )	
・国直轄事業費	1,685	( 3,050 )	
<b>国費合計</b>	<b>9,185</b>	<b>( 12,050 )</b>	
・財政投融资 (政府保証債)	34,800	( 30,100 )	
・政府保証債 (5年未満)	30,000	( — )	
償還財源	64,800	( 30,100 )	

なお、関西国際空港二期事業については、限定供用にかかる用地造成事業のうち、未完成の護岸嵩上げ工事等を行う予定です (事業費約35億円 (国費約23億円 [措置済み]))。

※事業費については会社事業計画の認可時点で確定する予定。

### 【関西国際空港の現況】



### 【中部国際空港の現況】



(前年度予算)

### (3) 一般空港等の整備

百万円 百万円

20,094 (39,088)

航空ネットワークの充実による地域の振興を図るため、継続中の滑走路延長等の事業を着実に実施するとともに、既存空港において、空港の機能を保持するために滑走路・誘導路等の基本施設、無線施設・航空灯火等の航空保安施設などの更新・改良等を確実に実施します。

<p><b>滑走路の延長等</b></p> <p>○新石垣空港の整備</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・事業内容：滑走路の移設・延長 (1,500m→2,000m)</li> <li>・場 所：沖縄県石垣市</li> </ul>	<p><b>既存空港の機能保持</b></p> <p>基本施設の更新・改良</p>  <p>【誘導路舗装の改良】</p> <p>航空保安施設の更新・改良</p>  <p>【老朽化したILSの更新】</p>
 <p>完成予想図</p>	 <p>石垣島 平久保崎 玉取崎 山平崎 新石垣空港建設地 新石垣改道 石垣港 石垣島 石垣市 石垣港 石垣島</p>

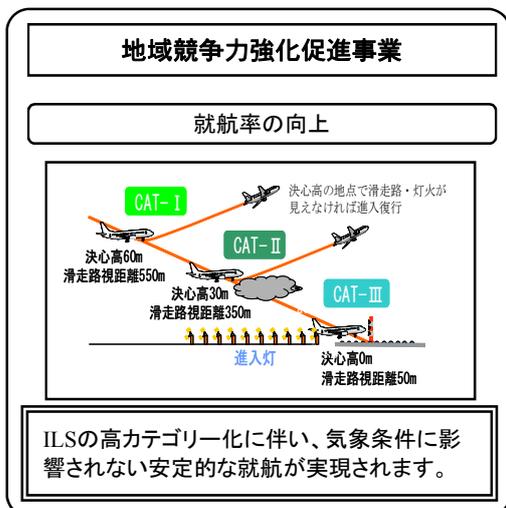
(前年度予算)

### (4) 空港等機能高質化事業

百万円 百万円

17,498 (22,084)

我が国全体の国際競争力や空港後背地域の地域競争力の強化、空港利用者の利便増進を図るため、既存ストックを活用し、空港の就航率向上や空域・航空路の抜本的な再編等による空港等の機能高質化を推進します。また、岩国飛行場における民間航空施設の整備を行います。



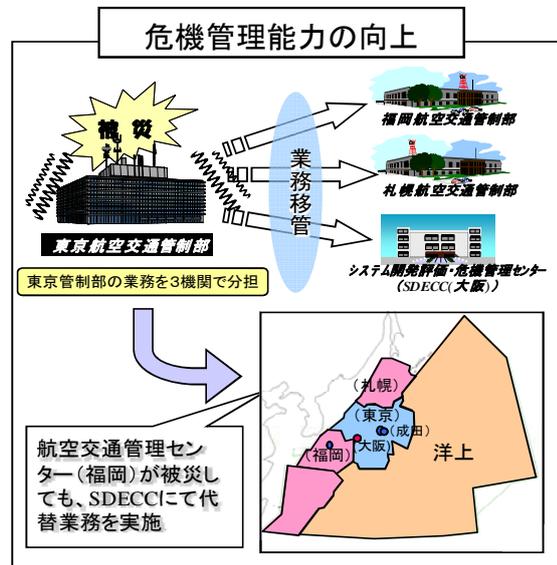
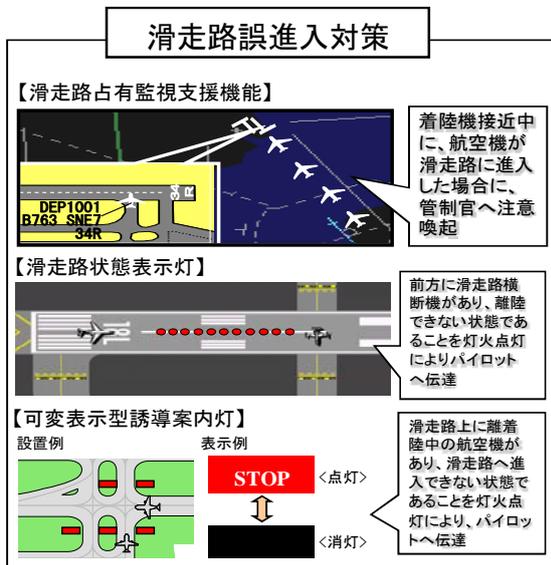
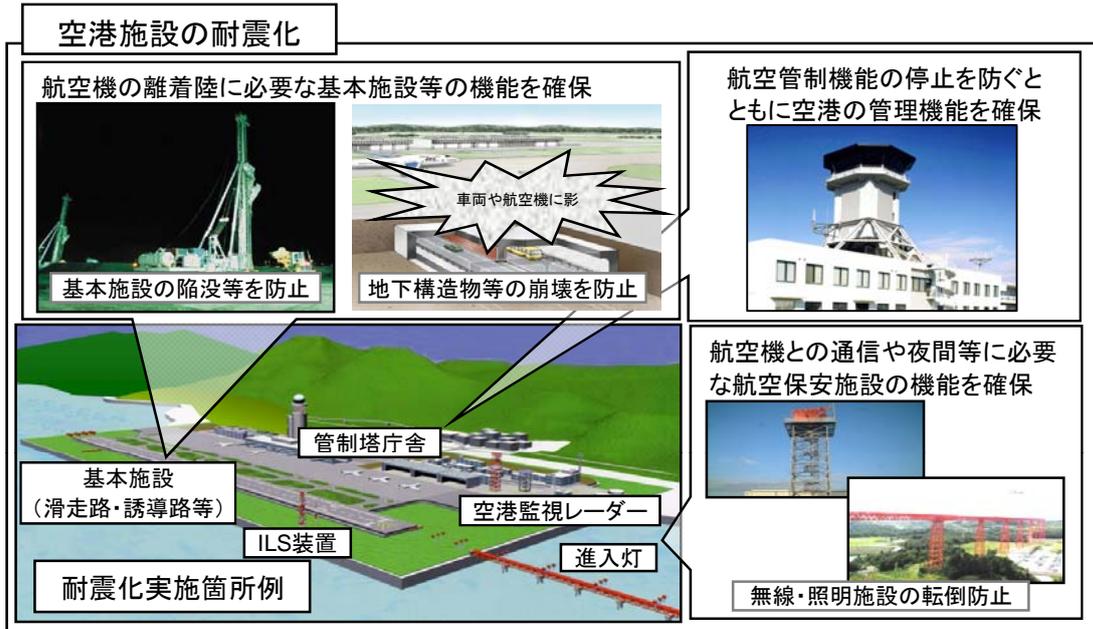
岩国飛行場における民間航空の再開は、厚木飛行場から岩国飛行場への空母艦載機移駐等米軍再編に係る負担を担う地元地方公共団体の要望に配慮することにより、在日米軍基地が周辺住民をはじめ国民の理解と支持の下に安定的に使用されるという意義を有するものであり、本事業を着実に実施するとの政府方針に則り、関係省庁の役割分担（民航施設の整備は国土交通省が主体となって実施。必要な土地の共同使用等に伴う米側との調整は防衛省が主体となって実施。）に基づき、所要の整備を行います。

(前年度予算)

## 2. 航空における安全・安心の確保

百万円 百万円  
20,187 (21,650)

航空における安全・安心の確保のため、空港の耐震化を計画的に実施し、地震災害時における空港機能の確保を図ります。また、ヒューマンエラーを予防するため、滑走路占有状態等を管制官やパイロットへ視覚的に表示・伝達するシステムの整備を推進するとともに、大規模災害時に対応するための危機管理能力の向上等を促進するなど、安心して利用できる航空輸送を実現します。



(前年度予算)

### (一般会計)

百万円 百万円  
251 (257)

### 航空輸送安全対策の強化

事故・トラブルに対する予防的安全対策や航空会社に対する的確な監査を推進するとともに、国産旅客機の開発に伴う新たな安全性審査方式の導入を行います。

(前年度予算)

百万円 百万円  
6,626 ( 9,262 )

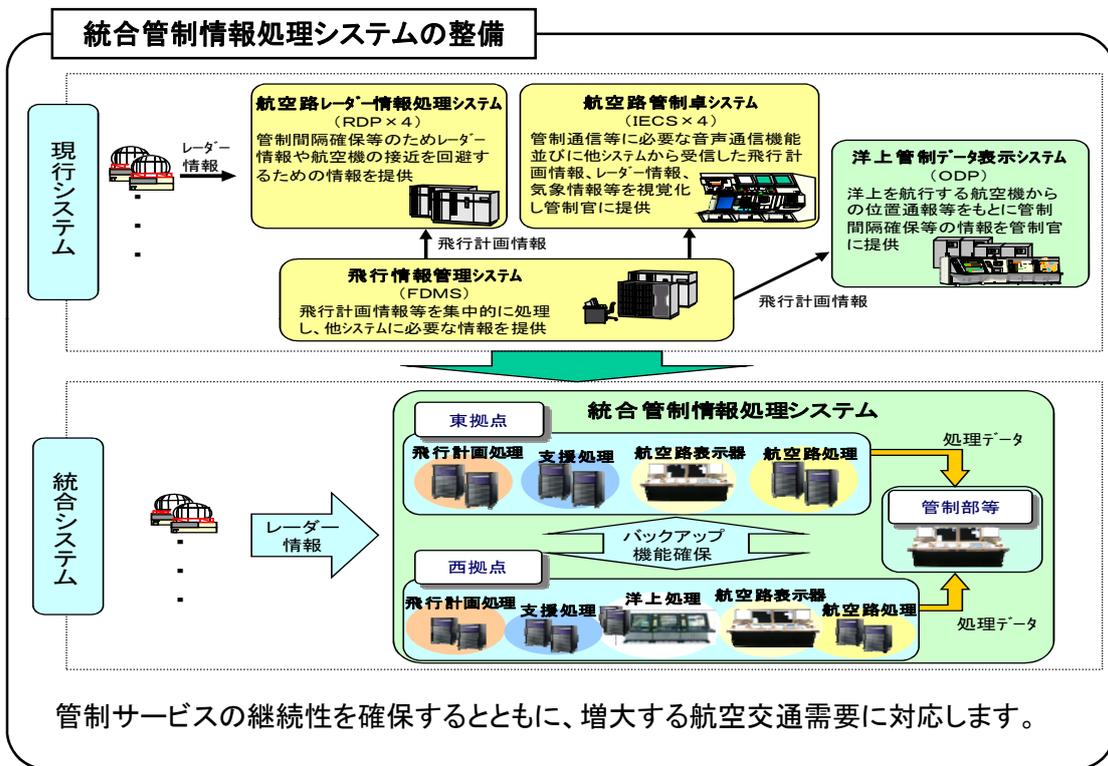
### 3. 空港周辺整備の促進（住宅防音工事、移転補償等）

(前年度予算)

百万円 百万円  
18,054 ( 24,209 )

### 4. 航空路施設の整備

航空交通の安全確保を最優先としつつ、交通量の増大やユーザーニーズの多様化に適切に対応して、航空交通容量の拡大を図るため、統合管制情報処理システムをはじめとする次世代航空保安システムの整備を推進するとともに、現行航空保安システムの機能を保持するための整備を実施します。



(前年度予算)

百万円 百万円

### 5. 離島の航空輸送の確保

- 航空機等購入費補助金
  - (1) 運航費関係 592 ( 1,097 )
  - (2) 衛星航法補強システム (MSAS) 受信機関係 522 ( 548 )
  - (3) 機体取得関係 70 ( 89 )
  - 0 ( 460 )
- 離島・コンピューター路線の維持・活性化に係る実証実験事業 (非公共) 42 ( - )